

## 居安思危 ～ 最終号 ～

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。本日、みなさんに備蓄として保管していたアルファ米・災害備蓄用ビスケットをお渡ししました。お水(500ml×4本)については保健室に各自で取りに来て下さい。(不要な人は寄付していただければ、学校で活用させていただきます。)

お渡しした備蓄品は期限がまだ残っていますので、お家の備蓄に足したり、春からは一人暮らしになる人もいるでしょうから、新生活に向けての準備に活用したりしてください。もちろん、卒業を祝って家族と一緒に試食しながら緊急時の行動について再確認するのもいいですね。

1・2年生のみなさん、学校では大規模災害に備えて、生徒のみなさんが学校に待機しても大丈夫なように、アルファ米・災害備蓄用ビスケット・水・レスキューシートなどを備蓄しています。保存食は無事何事もなく卒業の日を迎えられたときにお渡します。



〈本校の備蓄倉庫〉



〈備蓄品の例1〉



〈備蓄品の例2〉

## 備蓄ってどうしたらいいの？

### ～ローリングストック法のすすめ～

いざというときのために備蓄をしたのに準備をしたことで安心して、そのままになってしまい、気がつく和使用期限が過ぎていた！なんてことになっていませんか？

非常持ち出し袋にプラスして日常的に備蓄する方法としておすすめなのが「ローリングストック法」です。これはその名前の通り、「購入」→「備蓄」→「消費」→「購入」→「備蓄」→「消費」→とこのサイクルを繰り返すことで、使用期限を越えることなく適切な量の備蓄を絶えず確保する方法です。例えば、水やクラッカー、チョコレート、缶詰など賞味期限が比較的長く普段自分たちが口にしているものを、一定量いつも家においている状態を作ります。このとき気をつけることは

☆ 1つ食べたら**すぐに**1つ買ってくる

☆ 必ず**古いものから消費**することです。トイレトペーパーやティッシュペーパー、乾電池、ビニール袋などもいつも一定量をストックしておくようにしておくと、いざというときに慌てなくて済みます。

但し、非常用トイレやレスキューシートなど普段使わないものについては、非常持ち出し袋に入れて点検の際に確認し、いざというときに備えます。

